

くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 86

久米南町議会だより 令和6年6月議会



一般質問

町政を問う

南 直樹 P 3

1. 創業支援事業について
2. 保育園について

立石祐一 P 4

1. 町内3小学校跡地の利活用について
- ★2. 人口戦略会議における「消滅の可能性」がある自治体に、当町が新たに対象となった件について

近藤賢司 P 5

- ★1. 小学校新校舎建設計画について
2. 新小学校発足後の小学校跡地の利活用について
- ★3. 子育て・教育施策について
- ★4. 林業の振興と森林環境整備について
5. 「ふるさと納税」について
- ★6. 本町公営施設の委託事業について
- ★7. 久米南町の行く末について
- ★8. 障害者への合理的配慮について
- ★9. 福渡病院の経営について
- ★10. 道の駅について

小坂 守 P 6

1. 教育環境について
2. 有害鳥獣対策について

河原重義 P 7

1. 「地域計画」策定の進捗状況を聞く。計画ができていない地域から見える町の展望について新たな施策を検討しているものがあるか
2. 消滅可能性自治体に該当するとの報道をどのように捉えているか。脱却のために成すべきは少子化を食い止めると共に人口減少対策の具体化をすべきでは。創生戦略、振興計画の見直しを考えているか
- ★3. 公共施設周辺、空き家・空き地周辺等の管理状況を問う

政廣幹夫 P 8

- ★1. 新庁舎南側入口階段の危険な先端部分に対策を
2. 地域住民の安全と列車の安全のため黒橋跨線橋修繕に万全の対応を
- ★3. 自衛隊に18歳町民の個人情報をも本人に無断で提供しないこと
- ★4. カッピー子育て支援金はおそくとも3月末までに支給を
- ★5. 通信制高校津山サポート校生徒に通学定期の割引額補助を
- ★6. 片山町長は令和7年度以降も学校給食費無償化を
- ★7. 久米南町で訪問介護を展開する事業者に社協並の支援を
- ★8. 発達障害の特性を理解し当該町民に適切な対応できる身近な町を
- ★9. 小規模団地整備事業を地域防災にも活用できるよう制度改善を
- ★10. 町HPで掲載の町事業内容を質量ともに抜本改善を
- ★11. 国保会計への法定外繰入で所得激減対策と子ども均等割減免の実施を
- ★12. 片山町長は新放課後児童クラブ設置場所選定の統一方針を
- ★13. 片山町長は3小跡地問題に今後どう対応か、方針決定への工程を示せ

光元一郎 P 9

1. 副町長に問う
2. 保育園について
3. 町職員について
4. 庁舎について

※ 議会だよりに掲載できなかった質問は★で表記しています。
※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。



質問 創業支援事業について問う

一般質問

南 直樹 議員

問 今年度から新規事業として始めるということだが、内容についてお聞きしたい。

産業振興課長 今年度より、創業に必要な経費を対象に補助を行う「創業支援事業」として、創業に必要な申請書類作成、事業所開設、設備費、マーケティング調査などに関わる経費に対し補助を行う。

補助金の上限は100万円です。事業費の4割を補助する。

問 今回の補助事業は、国・県の起業創業の補助金と併用できるのか。

産業振興課長 事業内容が同じで、補助金等の交付を国・県から受けている又は受ける見込みがある場合は、補助金の対象とならない。

問 現時点で町内外から久米南町創業支援事業について相談はあったのか。

産業振興課長 申請はないが、商工会を通じて4件、窓口1件、計5件の問い合わせがあった。

問 創業を考えている方へ、広く周知し、知ってもらう必要があると思う。今後どのように周知していくのかお聞きしたい。

産業振興課長 周知について、事前に商工会や金融機関を訪問した。今後も関係機関と連携を図り、町広報誌、ホームページ等で周知、広報する。

問 補助金を受けると5年以上は事業継続をしなければならぬと思うが、行政は伴走支援をしていくのか。

産業振興課長 伴走支援は商工会や金融機関などをお願いすることになる。関係機関との情報共有、連携を図り、一体的なサポートに努めたい。支援事業を実施していく上で、商工会はなくてはならない存在だと認識している。しっかり連携を図りたいと思う。

保育園の現状について問う

問 現在の、保育園の運営はどのようなになっているのかお聞きしたい。

保健福祉課長 保育士2名を採用し、今年度も3園での運営、一時保育、3園合同保育が出来る状況だ。

入園児童は、対前年同期で3名の減少となっている。

問 統合について、現在の検討状況はどのようになっているのか。

保健福祉課長 現在内部において、統合に向けた協議は行っていない。

町長 統合に向けた具体的な検討は行っていない。3園での保育に支障がないよう努めてまいりたい。

問 今後数年間は現在の状況で運営していくとの理解でよろしいか。

町長 その認識だ。将来的には3小学校の統合もあり、状況等を鑑みながら慎重に行っていくかなければならないと思っている。

「元 氣」 はれのと き そとでサッカー げん気だぞ 井上 碧生

質問

町内小学校跡地利活用と消滅可能性自治体の件を問う



「元 氣」 おとなより こどものほうが 元氣だよ 片山琥太郎

立石祐一 議員

一般質問

問 町内3小学校跡地の利活用について、自治会連合会の総会で意見集約をお願いしていたが、何自治体から、どのような意見があったか。

総務企画課長 現在33自治会のうち5件。内容は意見集約途中のため本日は公表できない。

問 なぜ自治会だけに意見集約のお願いをしたのか。今後は自治会以外にも意見集約を実施するのか。

総務企画課長 各自治会総会であれば、より広くの方から意見が求められる方法と考えていること。

問 総務企画課内で、文部科学省所管の担当課が出している「みんなの廃校プロジェクト廃校活用事例集令和5年度3月発行」をみられたことがあるか。
総務企画課長 総務企画課というよりは、私が個人的に見ている。

問 この資料には、全国の廃校活用事例が掲載され、うち中

四国で9件。廃校活用に利用可能な、主な国庫補助制度の一覧も掲載している。地方公共団体における廃校活用にあたっては、「廃校は地域の思いが詰まった施設であるため、地域の意向を踏まえながら検討活用を進めること」とある。先日、文科省担当者に連絡し「ここで言う地域」というのは文科省はどう解釈しているのか」と問い合せすると、「自治会は関係団体の中のひとつ、との認識なので、保護者やPTA、地域事業者、地域で活動されている諸団体の方々などを含め、地域の意向を踏まえて検討を進めていただければと考えている。特定の団体だけを指すわけではない」との回答だった。自治会以外にも、PTA、商工業者、農林業者、地域の諸団体があるが、意見集約することも十分に必要と考える。

総務企画課長 各自治会組織は諸団体を含めて一体と考えている。

問 「地域」の認識について、文科省の解釈と当町の解釈にズレがある。過去の町長の答弁も「地域の意向」から「各自治会長から伺う」と、ズレが生じてきている。

町長 各自治会のご意見というのは重要と考えている。

問 自治会以外にも幅広く考えて意見集約をし、偏った内容にならないように町執行部で対応すべきと考える。また議会にも事前に説明すべき案件だと考える。今後、一度に3小学校全ての跡地利活用に対して町として対応できるか未知数だが、慎重な審議で地域間の軋轢に つながらないように対応すべきだと考える。



議会を訪問 弓削小学校6年生

質問

小学校の跡地活用について ふるさと納税について



近藤賢司 議員

一般質問

小学校の跡地の利活用について

問 今後の小学校跡地活用について、意見集約の手順がまだ具体的にないというところだが、町長はどのように見通しを持たれているのか。また、小学校の跡地を活用するにあたり、色んな形でインフラの整備、改修、お金の掛かることが多々あるかと思うが、この施設設備の改修が必要な場合について、どのような財源を充てられるのか。

総務企画課長 意見集約の方法については、現在自治会においてお願いをしている。意見集約が届いたら、それを内部で検討し、町としての素案を皆様のほうにご提示させていただきたいと考えている。次に、予算措置をとっている点で、具体的な概要、中身など定まっておらず、その検討もできていないため、今現在、答弁できない。

問 今のところまだ定まっていないということで、早急にこ

「元 氣」 みんなはね

そとであそぶよ

げん気だね

家門

里衣

の動きを活性化していただきたい。素案をつくり提示したいと

のことであるが、地域住民の合意をつくり出すには、十分慎重な準備が必要である。年数もかかる。もちろん反対される方もいらっしゃる。合意形成のための時間は、2年、3年とかかる。早急に対応をお願いしたい。また、財源については地方債もあると思うが、貯蓄している公共事業に使える基金等、色んな財源が考えられる。まず、こういうお金のことも併せてご提案いただきたい。

問 ふるさと納税の増額に向けて久米南町へのふるさと納税を仲介していただく事業者は現在何社あるのか。また取扱業者を増やしていくということが、本町のふるさと納税を増加させる仕組みにもなるとも考えられるが、取扱業者を増やす計画はないか。

産業振興課長 本町のふるさと納税の中間事業者は、「さと

ふる」の1社である。さとふるが運営する「おまとめ楽々サービス」を利用している。

中間事業者を増やすことで納税額は上がるかもしれないが、それに係る経費等も増え、総務省が定めるふるさと納税に係る事務費の上限割合を超えてしまう可能性があるため、現在は「さとふる」の1社のみとなっている。

問 例えば、県北の西栗倉村は納税額が1億4300万円。久米南町のざっと3倍以上の納税額である。近隣のそういった先進的な事例等も研究していただきたいながら進めてほしい。納税額が大変多い自治体の中には、7、8社と契約されている自治体もある。同時に町のアピールもしっかりと広げていただきたい。



質問 部活動地域移行について問う

「元 氣」 元氣よく あいさつへんじ 神目っ子 中村 春輝

小坂 守 議員

一般質問

問 中学生の休日の部活動について伺いたい。

教育課長 中学校における休日の部活動は、土曜日、日曜日のいずれか1日行っている。また出場する大会の1週間前には計画的に土曜、日曜日も部活動を行っている部もある。また部活動の指導員については、今年度は吹奏楽部に配置しており、顧問と共に基本的には平日の2日間と土曜日に活動をしている。野球部とテニス部は顧問が指導し、剣道部においては顧問の他、外部指導員が指導することもあ

問 スケジュールについて、

部活動が地域移行となれば、指導者の確保、保護者の方の経済的な負担など、色んな問題が想定される。生徒が安心して部活動に取り組むためにも今年度中に方向性を出すべきと考えるがどのようにお考えか伺いたい。

教育課長 地域移行のスケジュール

については令和5年度から3

年間を改革推進期間と位置付け、休日の学校部活動の地域連携や地域移行の達成時期は国として一律に定めず、地域の実情などに応じて可能な限り早期の実現を目指すとしている。当委員会

では部活動検討委員会を設置し、今日までに2回の検討委員会を開催している。24年度中に方向性を出すべきとの質問だが、休日の指導などを担う地域人材の確保、人件費や設備などの管理費への予算配置、活動場所の確保、また維持管理など、新たな取り組みへの課題は様々あるが、子どもたちのスポーツ、文化芸術環境の確保、学校の働き方改革の推進のため、できるだけ早期に部活動地域移行の方向性を示せるよう努めてまいりたい。

有害鳥獣対策について問う

問 本町には猟友会所属の方が71名とのことだが、狩猟免許の取得、銃の保持、車の油代等、色んな経費が発生している。狩猟者に対する支援について伺い

たい。

産業振興課長 狩猟者に対する補助は新規の狩猟免許取得及び猟銃所持許可の講習費用等について、県補助を活用し、5割以内での補助を行っている。

問 1頭当たりの駆除単価を伺いたい。

産業振興課長 町の補助単価は、イノシシ、シカが1頭当たり1万円。ヌートリアが1頭当たり3千円、その他は千円。イノシシ、シカについては、町の補助に加え、国、県からの補助があり、それぞれ要件があるが、国、県、町のトータルで最大1頭当たり2万1千円の補助を行っている。

問 有害鳥獣の駆除をお願いする時の手続きを伺いたい。

産業振興課長 町猟友会員へ直接依頼するか、町の担当者への連絡で結構だ。特に申請書などの提出は不要、電話などの依頼で十分である。

質問

持続可能な町づくりについて 問う



河原重義 議員

一般質問

農業の地域計画策定状況

問 農地の「地域計画」策定の進捗状況について問う。

産業振興課長 農業、農地に

関する法律の改正に伴い、新たに地域計画を行うことになった。地域農業の十年後の在り方、農地利用の姿を目標地図に落とし込むもので、町内各地域において、話し合いや意向調査の実施など取り組みが進んでいる。

問 農業者自身が十年先の将来を見据えてどうして行くかを考えることは重要なことだ。しっかり考えて行かなければ農地は荒廃し、山林と化してしまう。

三月議会でも指摘したが、農地を守るためにも計画策定時の協議の際等に助言出来るような体制が取れないか。

産業振興課長 話し合いの中

で、様々な意見が出ている。策定するうえで行政、農業委員会、農地中間管理機構等必要に応じて参加させてもらい、相談に応じたいと思っている。

問 町長にこのことについて

所見があれば伺いたい。

町長 農業は本町の主要産業

であると同時に、美しい景観を形成する地域資源だ。高齢化、後継者不足などを背景に、耕作放棄地の増加が問題となっている。また、米の価格低迷、肥料価格の高騰により、農家を取り巻く環境は大変厳しいものとなっている。国、県の事業や先端技術を活用しながら本町に合った農業振興に努めていく。

消滅可能性自治体からの脱却

問 前回の報告書で消滅可能性自治体として上がっていた近隣自治体が、今回脱却したように聞いている。学ぶことも大切と考えるが研究しているか。

町長 人口減少、少子高齢化

対策に向け取り組んでいる。分母が非常に少ないことにより、大きく数値は変動する。

問 町民は、こういった報道

を聞いて心配に思ってしまう。本町の取り組みや計画、施策を

練り直すことも必要ではないか。

振興計画・創生総合戦略、それぞれの目標について、現時点での達成評価はどのようになっているか。

副町長 創生総合戦略の基本

目標は四点あり、子育ての環境、地域を支える移住等の促進、持続的な地域経済の維持、地域力の創造で、これらの観点から目標を掲げ取り組んでいる。今後更に、国を挙げて取り組みを進めて行かなければならないものと思う。

問 移住者を増やすことは、人口減少社会の中で他町との取り合いになることと以前指摘していたことではあるが、とは言え消滅可能性自治体からの脱却も必要だ。見直すべきところは柔軟に検討することが大切だ。

「元 氣」 はげまされ

元気がでたよ

ありがとう

月本

凌侑



質問 黒橋跨線橋修繕に万全を

一般質問

政廣幹夫 議員

「元 氣」 元気にね みんなであそぶ なかがよい 山谷 優芽

町長 ご指摘のとおり。

「黒橋跨線橋は橋が完成してから120年以上経過しており、部材の劣化が激しく、危険な状態です。可能な限り歩行者のみの通行としていただきます。橋のご協力をお願いいたします。橋をご利用される皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力をよろしく願います。」

「久米南町役場建設水道課」という看板が、JR津山線の上を横断する下二ヶ川東地区内の黒橋跨線橋の両側に立っている。看板の「部材の劣化が激しい」状態の一部は、橋脚の筋交い切断箇所により確認できた。町は、すでに黒橋修繕に必要な対応をしているはずであるが、その現状はどうなっているのか。片山町長は、地域に不可欠な橋を通行する町民の安全と橋の下を往來する列車の安全のために早急な修繕のため万全の対応をすべき。(以上は質問通告文)

建設水道課長 橋梁点検の最近は、令和3年度に行った。

町長 点検したら4段階区分の、何段階だったか。

建設水道課長 区分3だった。

町長 3は早期措置段階だが令和3年度以降どう対応か。

建設水道課長 注意喚起の看板を設置し、JRや国交省と今後の対策を協議している。

町長 点検から注意喚起看板設置までも、かなり時間が経過している。修繕の段取りはどうなっているか。

建設水道課長 JRや国交省と協議し対策を検討している。

町長 橋の管理者は片山町長だが、JRと何を協議か。

建設水道課長 今後の対策だ。

町長 町は、どんな対策を持っているのか。

建設水道課長 まだ決まっていないが、早急に決めたい。

町長 3年も放置して一体どう

いうことか。JRとの協議は、工事を実施する時のものではないのか。

建設水道課長 昨年度もJR広島支社等と、今後の方針を決めたいと協議はした。

町長 今後の町の方針がアバウト(あいまい)だ。

町長 町としては、補修が一番との考えに至っている。

建設水道課長 補修に向けてだと来年度に詳細設計など、それ以降の実施工事になる。

町長 橋の下は、JR津山線が往來する。もし橋の上からコンクリート破片が落ちて損害を与えたら、町は大きな損害賠償をしなければならぬ。放置していた責任が問われる。

町長 修繕の計画は、先ほど課長が言った流れで動くと思う。

町長 そんな悠長なことではなく即刻、予備費を使ってでも修繕すべきだ。

片山町長は、道路法の黒橋跨線橋の管理者か。

質問 副町長に問う



光元一郎 議員

一般質問

問 岡山市に住まい、かつては津山市の副市長までされた副町長に、岡山市や津山市にあって久米南町にない制度で、採用すべきものはないか。

副町長 いずれの市も地域の特性や歴史等を踏まえて、工夫を凝らして施策、制度、行政組織を構築しているので、そのまま本町に導入するのは難しいのではないか。

問 副町長として特に力を入れた施策等はないか。行政や団体の中枢で活躍された方です。片山町長に遠慮することなく努めていただきたい。

副町長 政策を公約として掲げ、選挙を経て町長になった片山町長の施策の実現に努めることが第一と考える。

問 夢を語ってもらいたい

副町長 岡山県、商工会連合会、津山市、国民健康保険団体連合会で仕事をしたが、どの組織においても、仕事をするうえで極めて重要なものは、職員の

業務を執行する意識と能力であると考え。明日の久米南町を創造できる職員を創造する、これが私の望みである。

保育園について

問 4番議員への回答で、統合は今のところ検討しないとあったが、問題は小学校で言うところの、複式学級になっていることとであり、発達が激しい時期に、最大2歳差がある子どもを同じように保育するのは無理があるのではないか。

町職員について

問 一般職員の募集が今年もないが、将来困るのではないか。30歳未満が2人、45歳以上50歳未満が23人と、非常にいびつな年齢構成になっている。現在の執行部がこうしたわけではないが、平均して1年に1・5人を採用すれば、年齢構成は理想となる。定員のこともあるが、少しでも改善されることを望む。

総務企画課長 計画的に募集をかけたいと考える。

新庁舎について

問 庁舎の不備について、3月に指摘した項目あるいは職員から問題提起されたことで、改善したことはあるか。職員がストレスなく仕事ができ、来庁された方に気持ちよく帰っていた方には、職員の対応もあるが、施設にもかかっている。補正予算を組んでも、しっかりとした改善を求める。

総務企画課長

3月議会であうかがった改善点については、予算措置をしていないので、対応ができていない。3月議会終了後に職員から意見を聞く機会を設け、大まかには職員間で解決できるものが多い、対応した。



議会を訪問 神目小学校6年生

「元 氣」 父母に わけておくれよ その元氣 中力 麻代

町村議会議長・副議長研修会に参加

5月21日に町村議会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムで開催され、杉本議長と政廣副議長が参加しました。3部構成の講演があり、慶応義塾大学法学部教授・谷口尚子氏の「将来の地方議会を担うのは誰か？」と題した講演では、日本では、民主主義体制での制度は充

実しているが、選挙は活性化されず、投票率が低くなる傾向が続いている。若年層への「主権者教育」や、民主主義のありようを学習する機会が必要であり、多様な人材が参加しやすい環境整備が必要だと述べられました。

「元氣」 校庭で 元氣に走る 我が子かな 杉山 孝行

南直樹議員に議員在職10年表彰



南直樹議員が議員在職10年となり、6月議会の会議に先立ち、杉本議長より表彰状を授与されました。

第74回 全国植樹祭

5月26日に全国植樹祭が、岡山市のジップアリーナで開催され、杉本議長、政廣副議長、小坂委員長、河原委員長、南委員長が参加しました。

天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、厳粛に式典が行われ、苗木の植樹行事などが行われました。

また、岡山県を舞台とした演劇披露や、会場内では、林業関係者等の案内ブースが多数開かれ、盛大に開催されました。



編集後記

今年梅雨入りが遅く、水稲や野菜の生育に大きな影響が出なければと祈る思いです。

さて、6月の本会議に町内3小学校の6年生が傍聴に来てくれました。議会の様子を見て学びを深めてもらえたのではないかと思います。久米南町の将来を担う1人として、この経験を大切にしてもらいたいです。町民の皆様も是非議会の傍聴にお越し下さい。

本誌が発行される頃には、町長選挙も終わっていると思いますが、新町長には、久米南町の更なる発展のため議会と共に頑張ってもらいたいと思います。

(河原 重義)

議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だより第86号 (令和6年8月15日発行)

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 Ⅱ 086-728-2112

